

# 文部科学省の科学研究費補助金制度について

- 1 科学研究費補助金の概要
- 2 科学研究費補助金の配分審査機構図
- 3 科学研究費補助金の配分審査の流れ
- 4 科学研究費補助金の中間・事後評価について
- 5 科学研究費補助金「系・分野・分科・細目表」
- 6 科学研究費補助金における評価者の選定について

平成16年11月26日  
文部科学省研究振興局  
学術研究助成課長  
甲野正道

# 1 科学研究費補助金の概要

## (1) 目的・性格

「科学研究費補助金」(科研費)は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューにより、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものである。

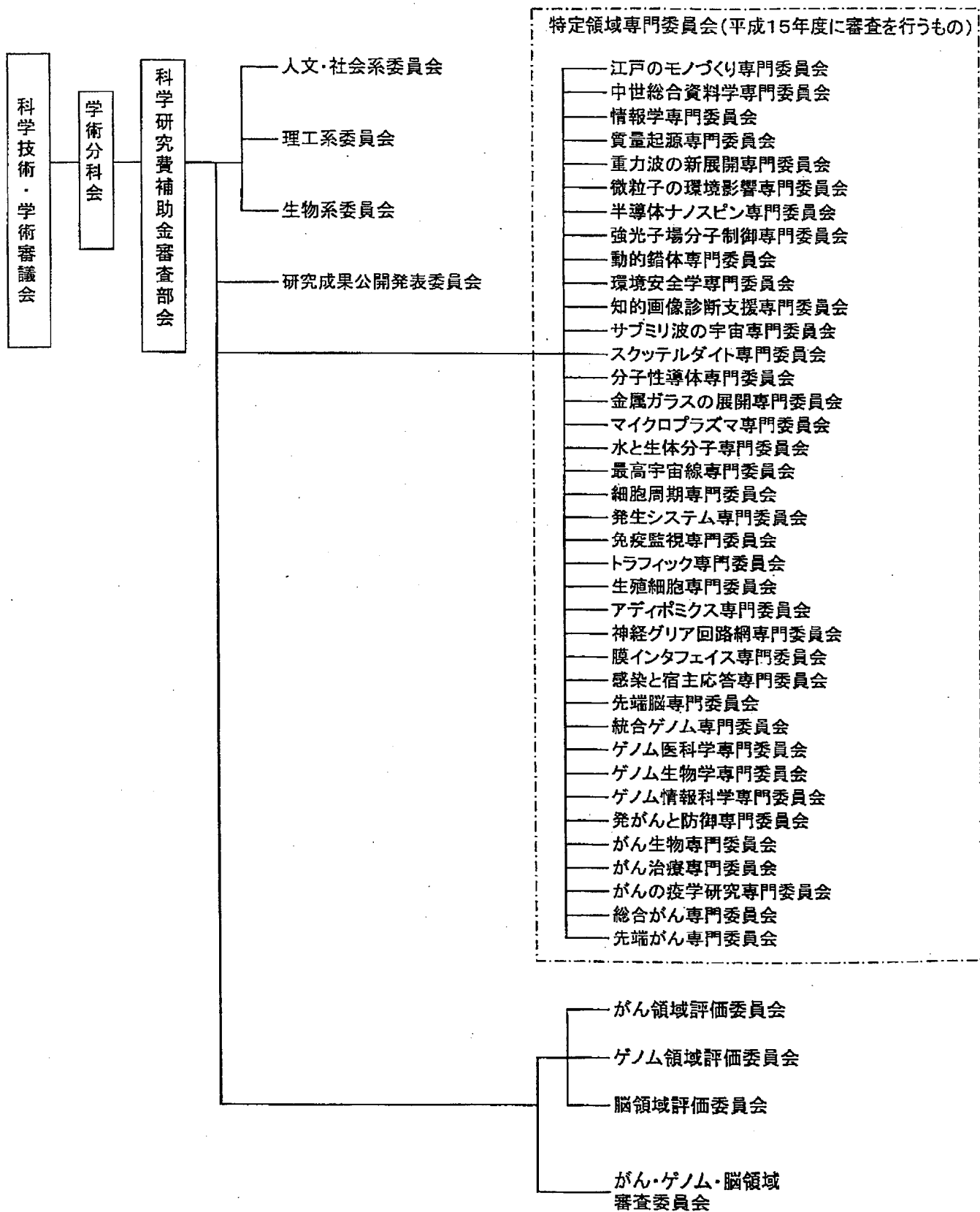
## (2) 科研費の「研究種目」一覧

研究種目等	研究種目の目的・内容
<b>科学研究費</b>	
特別推進研究	国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究 (期間3～5年、1課題5億円程度を目安とするが、制限は設けない)
特定領域研究	21世紀の我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取組が必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定して機動的かつ効果的に研究の推進を図る研究 (期間3～6年、単年度当たりの目安1領域 2千万円～6億円程度)
基盤研究 ※	1人又は比較的少人数の研究者が行う独創的・先駆的な研究 基盤研究(S) (期間5年、1課題 5,000万円以上1億円程度まで)  1人又は複数の研究者が共同で行う独創的・先駆的な研究 (期間2年～4年、ただし、企画調査を行うものは1年) (申請総額によりA・B・Cに区分) (A) 2,000万円以上 5,000万円以下 (B) 500万円以上 2,000万円以下 (C) 500万円以下
萌芽研究 ※	独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究 (期間1～3年、1課題 500万円以下)
若手研究 ※	37歳以下の研究者が一人で行う研究 (期間2～3年、申請総額によりA・Bに区分) (A) 500万円以上3,000万円以下 (B) 500万円以下
奨励研究 ※	教育・研究機関の職員、企業の職員又はこれら以外の者で科学研究を行っている者が1人で行う研究 (期間1年、1課題 100万円以下)
特別研究促進費	緊急かつ重要な研究課題の助成
<b>研究成果公開促進費</b>	
研究成果公開發表	研究者グループ等による学術的価値が高い研究成果の社会への公開や国際発信の助成
学術定期刊行物 ※	学会又は、複数の学会の協力体制による団体等が、学術の国際交流に資するために定期的に刊行する学術誌の助成
学術図書 ※	個人又は研究者グループ等が、学術研究の成果を公開するために刊行する学術図書の助成
データベース ※	個人又は研究者グループ等が作成するデータベースで、既に実用に供し得る条件を備え、かつ、学術情報システム等を通じ公開利用を目的とするものの助成
特定奨励費	学術研究諸団体が行う学術的・社会的要請の強い特色ある研究事業の助成
特別研究員奨励費 ※	日本学術振興会の特別研究員(外国人特別研究員を含む。)が行う研究の助成 (期間3年以内)
学術創成研究費 ※	科学研究費補助金等による研究のうち特に優れた研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図る (推薦制 期間5年)

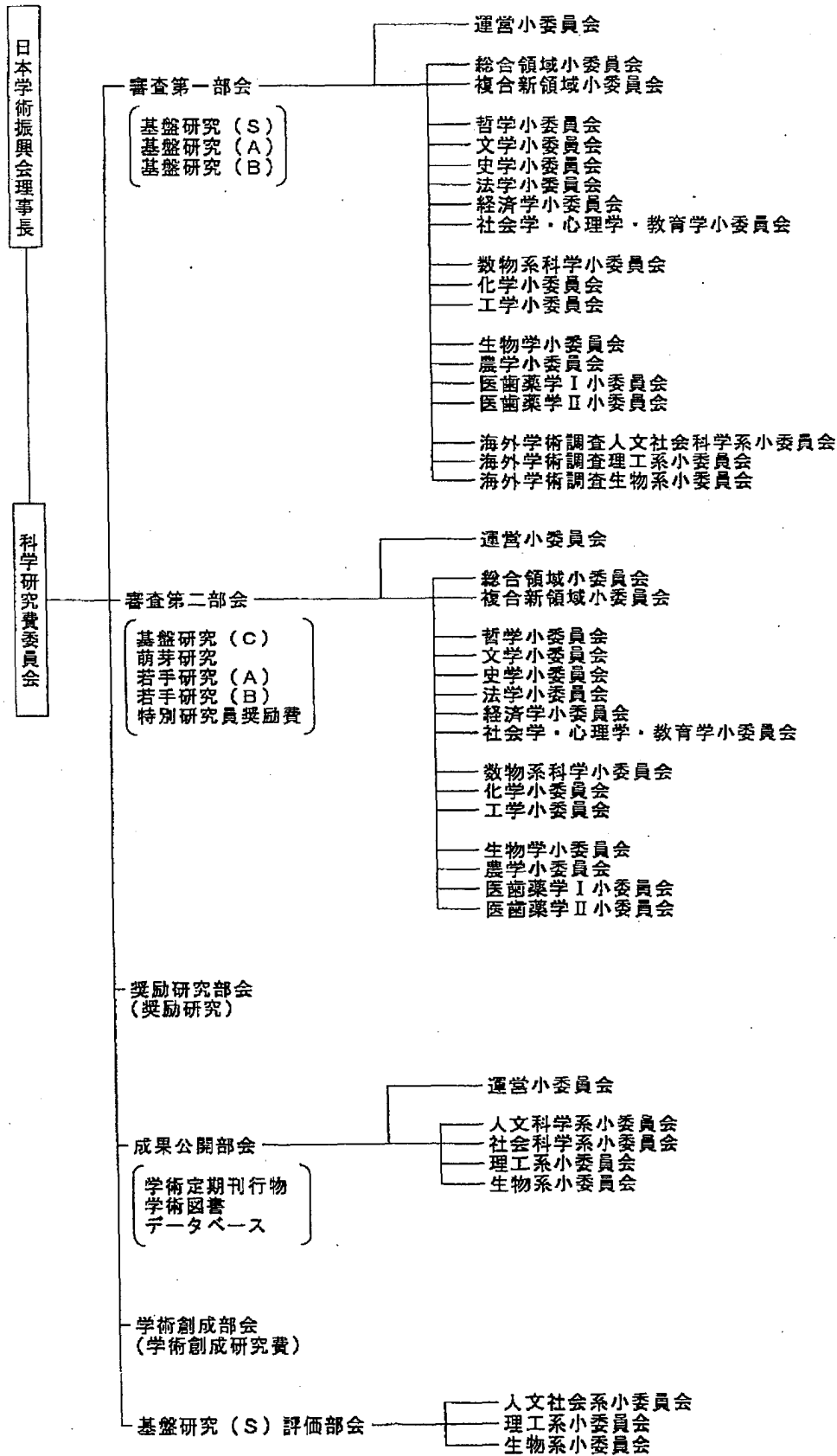
※印の研究種目の審査は、日本学術振興会が行っています。

## 2 科学研究費補助金の配分審査機構図

平成16年度科学研究費補助金配分審査機構図(文部科学省審査分)

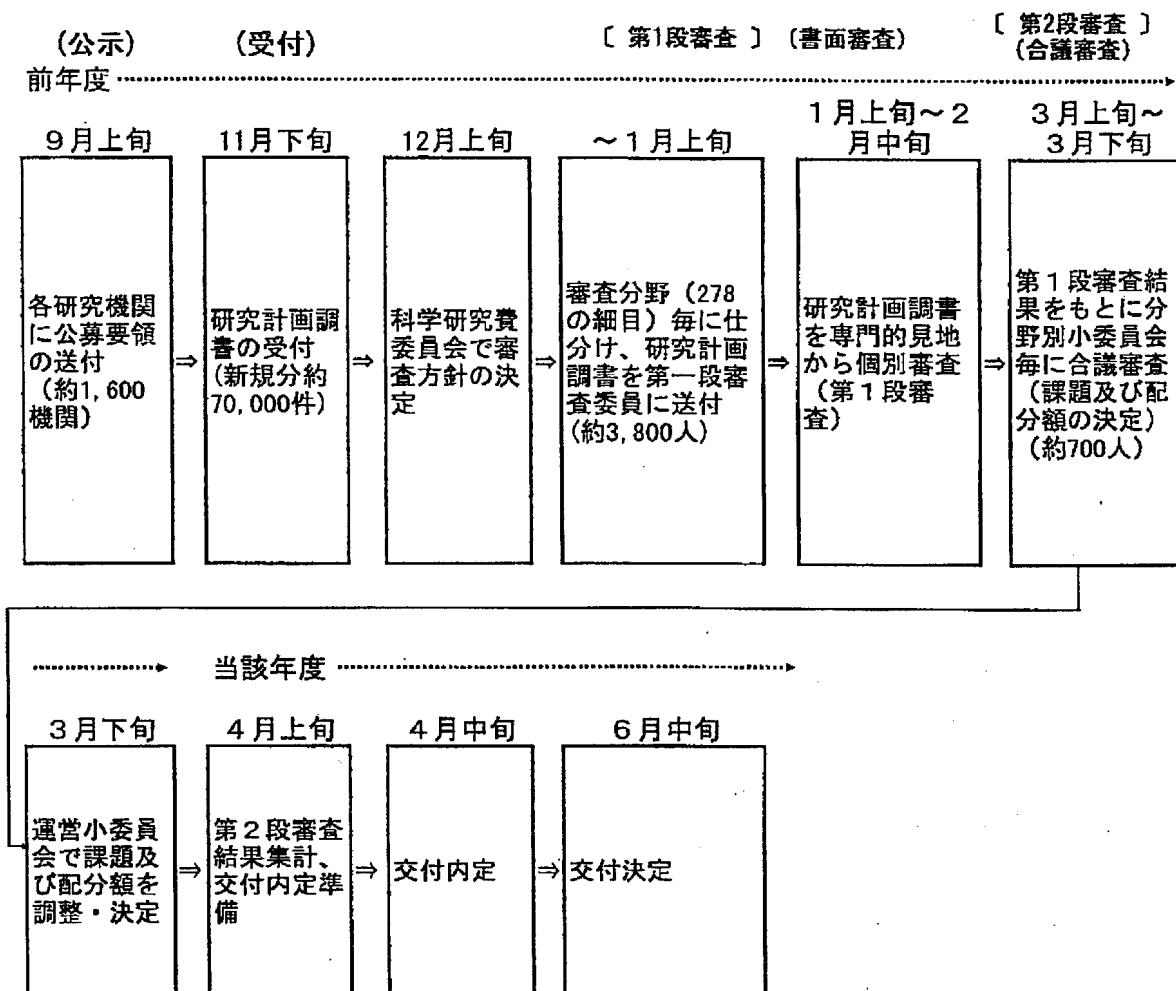


# 平成16年度科学研究費補助金配分審査機構図 (日本学術振興会審査分)

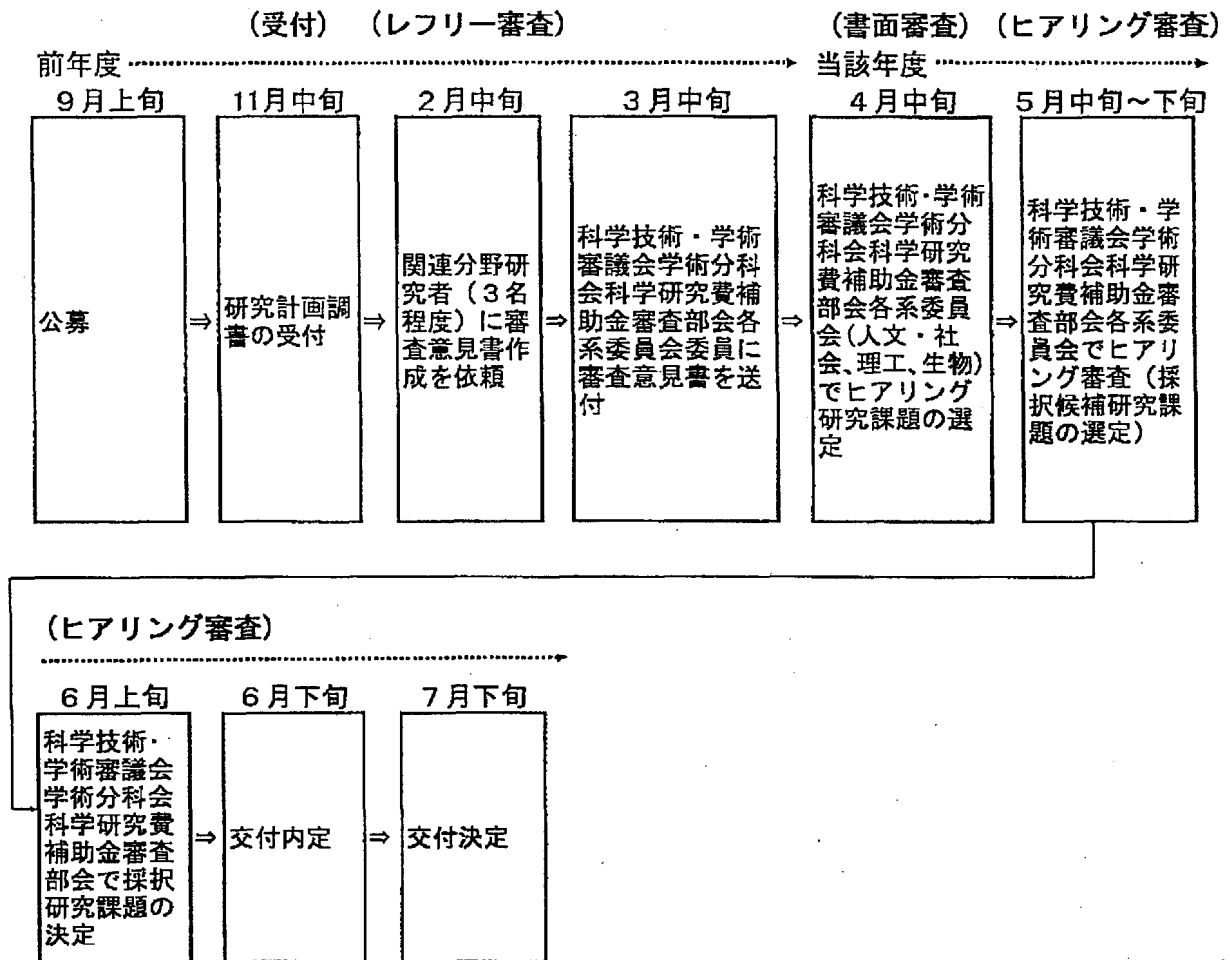


### 3 科学研究費補助金の配分審査の流れ

#### 基盤研究、萌芽研究、若手研究の配分審査の流れ

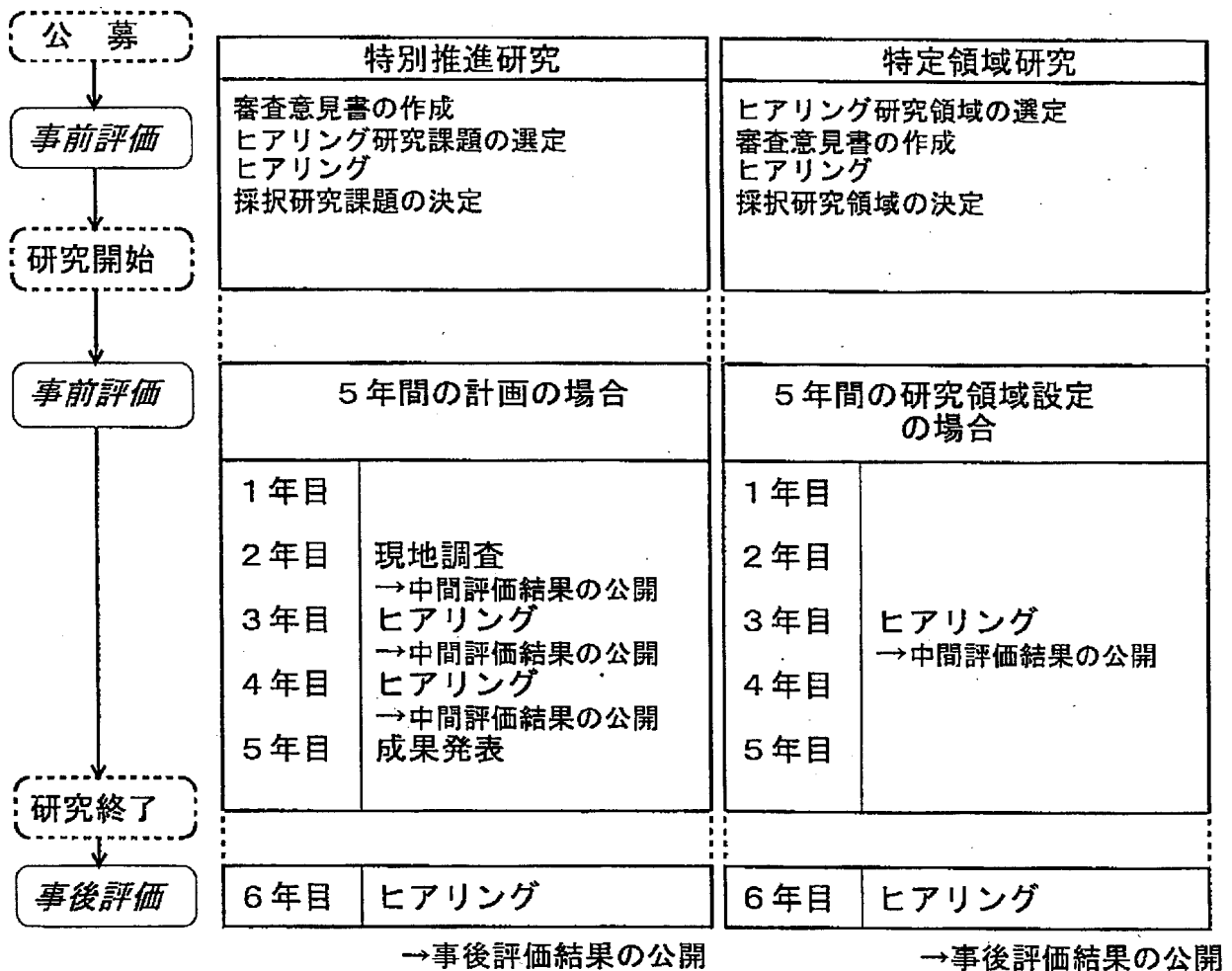


## 特別推進研究の配分審査の流れ



## 4 科学研究費補助金の中間・事後評価について

1. 個々の研究課題について、毎年度に研究実績報告書、研究期間終了後事後に研究成果報告書を提出。
2. 研究費規模が大規模で研究期間が5年以上の研究種目については、毎年度行う実績報告書の提出のほか、科学技術・学術審議会において中間評価を行うとともに、研究期間終了後1年以内に事後評価を実施。  
中間・事後評価の結果は、記者発表、文部科学省ホームページ掲載を通じて一般に公開。



(参考)  
平成15年度 特別推進研究・特定領域研究における中間・事後評価の実施実績について

	中 間	事 後	合 計
特別推進研究	45件 (うち現地調査21件)	15件	60件
特定領域研究	26件	30件	56件

# 5 科学研究費補助金「系・分野・分科・細目表」

系	分野	分科	細目名	細目番号
総合・新領域系	総合領域	情報学	情報学基礎	1001
			ソフトウェア	1002
			計算機システム・ネットワーク	1003
			メディア情報学・データベース	1004
			知能情報学	1005
			知覚情報処理・知能ロボティクス	1006
			感性情報学・ソフトコンピューティング	1007
			情報図書館学・人文社会情報学	1008
			認知科学	1009
			統計科学	1010
		生体生命情報学	1011	
		神経科学	神経科学一般	1101
			神経解剖学・神経病理学	1102
			神経化学・神経薬理学	1103
			神経・筋肉生理学	1104
		実験動物学	実験動物学	1201
		人間医工学	医用生体工学・生体材料学	1301
			医用システム	1302
			リハビリテーション科学・福祉工学	1303
		健康・スポーツ科学	身体教育学	1401
			スポーツ科学	1402
			応用健康科学	1403
		生活科学	生活科学一般	1501
			食生活学	1502
		科学教育・教育工学	科学教育	1601
			教育工学	1602
		科学社会学・科学技術史	科学社会学・科学技術史	1701
		文化財科学	文化財科学	1801
		地理学	地理学	1901
		複合新領域	環境学	環境動態解析
	環境影響評価・環境政策			2002
	放射線・化学物質影響科学			2003
	環境技術・環境材料			2004
	ナノ・マイクロ科学		ナノ構造科学	2101
			ナノ材料・ナノバイオサイエンス	2102
			マイクロ・ナノデバイス	2103
	社会・安全システム科学		社会システム工学・安全システム	2201
			自然災害科学	2202
	ゲノム科学		基礎ゲノム科学	2301
			応用ゲノム科学	2302
	生物分子科学		生物分子科学	2401
	資源保全学		資源保全学	2501
	地域研究		地域研究	2801
	ジェンダー		ジェンダー	2701

系	分野	分科	細目名	細目番号
人文社会科学系	人文学	哲学	哲学・倫理学	2801
			中国哲学	2802
			印度哲学・仏教学	2803
			宗教学	2804
			思想史	2805
			美学・美術史	2806
		文学	日本文学	2901
			ヨーロッパ語系文学	2902
			各国文学・文学論	2903
			言語学	3001
	言語学	言語学	3001	
		日本語学	3002	
		英語学	3003	
		日本語教育	3004	
		外国語教育	3005	
	史学	史学一般	3101	
		日本史	3102	
		東洋史	3103	
		西洋史	3104	
	考古学	3105		
	人文地理学	人文地理学	3201	
	文化人類学	文化人類学・民俗学	3301	
	法学	基礎法学	3401	
		公法学	3402	
		国際法学	3403	
		社会法学	3404	
		刑事法学	3405	
		民事法学	3406	
		新領域法学	3407	
		政治学	政治学	3501
		国際関係論	3502	
		理論経済学	3601	
	経済学	経済学説・経済思想	3602	
		経済統計学	3603	
		応用経済学	3604	
		経済政策	3605	
		財政学・金融論	3606	
		経済史	3607	
		経営学	経営学	3701
	経営学	商学	3702	
		会計学	3703	
		社会学	社会学	3801
	社会学	社会福祉学	3802	
		社会心理学	3901	
	心理学	教育心理学	3902	
臨床心理学		3903		
実験心理学		3904		
教育学		教育学	4001	
教育学	教育社会学	4002		
	教科教育学	4003		
	特別支援教育	4004		



系	分野	分科	細目名	科目番号
理工系	数物系科学	数学	代数学	4101
			幾何学	4102
			数学一般(含微分論・統計数学)	4103
			基礎解析学	4104
			大域解析学	4105
		天文学	天文学	4201
			素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	4301
		物理学	物性I	4302
			物性II	4303
			数理物理・物性基礎	4304
			原子・分子・量子・コロイド・ガラス・プラズマ	4305
			生物物理・化学物理	4306
		地球惑星科学	固体地球惑星物理学	4401
			気象・海洋物理・陸水学	4402
			超高層物理学	4403
			地質学	4404
			層位・古生物学	4405
		プラズマ科学	岩石・鉱物・鉱床学	4406
			地球宇宙化学	4407
			プラズマ科学	4501
	物理化学		4601	
	有機化学		4602	
	化学	基礎化学	無機化学	4603
			分析化学	4701
			合成化学	4702
		複合化学	高分子化学	4703
			機能物質化学	4704
			環境関連化学	4705
			生体関連化学	4706
		材料化学	機能材料・デバイス	4801
			有機工業材料	4802
			無機工業材料	4803
	工学	応用物理学・工学基礎	高分子・繊維材料	4804
			応用物性・結晶工学	4901
			薄膜・界面・表面物性	4902
			応用光学・量子光学	4903
			応用物理学一般	4904
		機械工学	工学基礎	4905
			機械材料・材料力学	5001
			生産工学・加工学	5002
			設計工学・機械機能要素・1/4体D/C	5003
			流体工学	5004
		電気電子工学	熱工学	5005
			機械力学・制御	5006
			知能機械学・機械システム	5007
			電力工学・電気機器工学	5101
			電子・電気材料工学	5102
		土木工学	電子デバイス・電子機器	5103
			通信・ネットワーク工学	5104
			システム工学	5105
計測工学			5106	
制御工学			5107	
建築学	土木材料・施工・建設マネジメント	5201		
	構造工学・地震工学・維持管理工学	5202		
	地盤工学	5203		
	水工水産学	5204		
	交通工学・国土計画	5205		
材料工学	土木環境システム	5206		
	建築構造・材料	5301		
	建築環境・設備	5302		
	都市計画・建築計画	5303		
	建築衛生・衛生	5304		
プロセス工学	金属物性	5401		
	無機材料・物性	5402		
	複合材料・物性	5403		
	構造・機能材料	5404		
	材料加工・処理	5405		
総合工学	金属生産工学	5406		
	化工物性・移動操作・単位操作	5501		
	反応工学・プロセスシステム	5502		
	分離・精製化学プロセス	5503		
	生物機能・バイオプロセス	5504		
基礎生物学	航空宇宙工学	5601		
	船舶海洋工学	5602		
	地球・資源システム工学	5603		
	リサイクル工学	5604		
	核融合学	5605		
生物科学	原子力学	5606		
	エネルギー学	5607		
	遺伝・ゲノム動態	5701		
	生態・環境	5702		
	植物生理・分子	5703		
人類学	形態・構造	5704		
	動物生理・行動	5705		
	生物多様性・分類	5706		
	構造生物化学	5801		
	機能生物化学	5802		
看護学	生物物理学	5803		
	分子生物学	5804		
	細胞生物学	5805		
	発生生物学	5806		
	進化生物学	5807		
歯学	人類学	5901		
	生理人類学	5902		
	基礎生物学	5701		
	生物科学	5801		
	人類学	5901		

系	分野	分科	細目名	科目番号
生物系	農学	農学	育種学	6001
			作物学・雑草学	6002
			園芸学・遊園学	6003
			植物病理学	6004
			応用昆虫学	6005
		農芸化学	植物栄養学・土壌学	6101
			応用微生物学	6102
			応用生物化学	6103
			生物生産化学・生物有機化学	6104
			食品科学	6105
		林学	林学・森林工学	6201
			林産科学・木質工学	6202
			水産学	6301
			水産学一般	6302
			農業経済学	6401
		畜産学・獣医学	農業経済学	6401
			農業工学	6501
			農業土木学・農村計画学	6502
			農業環境工学	6503
			農業情報工学	6504
	境界農学	畜産学・草地学	6601	
		応用動物科学	6602	
		基礎獣医学・基礎畜産学	6603	
		応用獣医学	6604	
		臨床獣医学	6605	
	医歯薬学	薬学	環境農学	6701
			応用分子細胞生物学	6702
			化学系薬学	6801
			物理系薬学	6802
			生物系薬学	6803
		基礎医学	創薬化学	6804
			環境系薬学	6805
			医療系薬学	6806
			解剖学一般(含組織学・発生学)	6901
			生理学一般	6902
		境界医学	環境生理学(含体力医学・栄養生理学)	6903
			薬理学一般	6904
			薬理学一般	6905
			病態生理学	6906
			免疫学	6907
		社会医学	人類遺伝学	6908
			人体生理学	6909
			家庭看護学	6910
			寄生虫学(含衛生動物学)	6911
			細菌学(含真菌学)	6912
	外科系臨床医学	ウイルス学	6913	
		免疫学	7001	
		医療社会学	7002	
		応用薬理学	7003	
		病態検査学	7004	
歯学	衛生学	7101		
	公衆衛生学・健康科学	7102		
	法医学	7103		
	内科学一般(含心身医学)	7201		
	消化器内科学	7202		
看護学	循環器内科学	7203		
	呼吸器内科学	7204		
	腎臓内科学	7205		
	神経内科学	7206		
	代謝学	7207		
外科系臨床医学	内分泌学	7208		
	血液内科学	7209		
	膠原病・アレルギー・感染病内科学	7210		
	小児科学	7211		
	胎児・新生児医学	7212		
歯学	皮膚科学	7213		
	精神神経科学	7214		
	放射線科学	7215		
	外科学一般	7301		
	消化器外科等	7302		
看護学	胸科外科学	7303		
	脳神経外科学	7304		
	整形外科	7305		
	麻酔・発生学	7306		
	泌尿器科学	7307		
看護学	産婦人科学	7308		
	耳鼻咽喉科学	7309		
	眼科	7310		
	小児外科学	7311		
	形成外科学	7312		
看護学	救急医学	7313		
	形態系基礎歯科学	7401		
	機能系基礎歯科学	7402		
	病態科学系歯科学・歯科放射線学	7403		
	保存治療系歯科学	7404		
看護学	補綴理工系歯科学	7405		
	外科系歯科学	7406		
	矯正・小児系歯科学	7407		
	歯周治療系歯科学	7408		
	社会系歯科学	7409		
看護学	基礎看護学	7501		
	臨床看護学	7502		
	地域・老年看護学	7503		

## 6 科学研究費補助金における評価者の選定について

【文部科学省（特別推進研究等）】

1 委員等は、文部科学大臣が任命する。

科学技術・学術審議会令（政令第279号）一抄一

（委員の任命）

第2条 委員は、学識経験のある者のうちから、文部科学大臣が任命する。

2 臨時委員は、当該特別の事項に関し学識経験のある者のうちから、文部科学大臣が任命する

3 専門委員は、当該専門の事項に関し学識経験のある者のうちから、文部科学大臣が任命する。

2 専門委員会において審査・評価にあたる候補者の選考には、学術調査官も選考に参画している。また、学術調査官は、特定領域研究を効果的に推進する観点から、領域代表者の意見を聞くことができることとしている。

3 評価者選考に当たっての留意点

- 一 特定の研究機関に偏らないこと
- 二 公立大学、私立大学の研究者に配慮すること
- 三 特に優れた若手研究者に配慮すること
- 四 女性研究者に配慮すること
- 五 科学研究費補助金審査部会の委員会は25名以内、専門委員会は8名以内の組織を原則とすること

なお、委員会において評価にあたる候補者を選考する際には、特定の専門分野に偏らないよう留意するとともに、事前評価の対象となる研究課題の研究代表者及び領域代表者は選考しないこととしている。

## 【日本学術振興会（基盤研究等）】

- 1 審査委員は、科学研究費補助金審査委員選考会において学術システム研究センターが作成した候補者案を基に選考し、理事長が委嘱する。

科学研究費補助金に係る審査委員の選考に関する要項（理事長裁定）一抄一

（設置）

- 第1 独立行政法人日本学術振興会に、科学研究費補助金に係る審査員を選考するため、科学研究費補助金選考会（以下、「選考会」という。）を置く。

（選考方法）

- 第5 選考会は、学術システム研究センターが作成した審査委員の候補者案を基に審査委員を選考する。

（審査員の委嘱等）

- 第8 審査委員は、独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会専門委員として、理事長が委嘱する。

- 2 選考に必要な審査委員候補者情報については、日本学術振興会理事長より日本学術会議会長に情報提供を依頼するとともに、科学研究費補助金の比較的大型の研究種目（特別推進研究、特定領域研究、若手研究（A）等）の交付内定を受けた研究者に情報提供を依頼すること等により収集。

- 3 審査委員選考に当たっての主な留意点

- 一 科学研究費補助金の制度を理解し、かつ当該学術研究分野に精通し、公正で十分な評価能力を有する者であること。
- 二 若手研究者、女性研究者を加えることに配慮すること。
- 三 公立大学、独立行政法人、民間企業等の研究者の選考にも配慮すること。
- 四 不正経理を行った者や過去に適正さを欠く審査を行った者は選考しないこと。
- 五 同一の研究課題を個別に審査する第1段審査委員は、同一研究機関に所属する者が複数とならないようにする。
- 六 各小委員会において、分担して同一の研究課題を審査する第2段審査委員が2人の場合には、前任者と同じ研究機関に所属する者とならないようにする。